

臺灣日語學習人口及韓語學習人口的消長

王敏東 謝淑方

臺灣科技大學應用外語系教授 臺灣科技大學應用外語系學生

摘要

本文以臺灣教育部公布之官方資料檢視臺灣近年高中及大學修讀（除英文以外）各外語的人數變化，結果得知修讀日語的學生雖仍為多數，但所佔比例逐年下降，且以科技大學減少的情況較為顯著。相對地，修讀韓語的學生雖仍不達一成，但所佔比例逐年攀升，此外，修讀法文、西班牙文等歐洲語言及修讀泰語、印尼語等東南亞語的學生也有增加的趨勢。

另一方面，若以開課班級數/課程數（門）的絕對數量來看，高中日語的開課班數在 100 至 104 學年間基本上是減少，大學課程數（門）自 99 學年度以來亦是逐年減少，直接影響日語教師的就業市場。

關鍵詞：日語、韓語、東南亞諸國語、卡方檢定

台湾における日本語学習者数と韓国語学習者数の消長

王敏東、謝淑方

台湾科技大学応用外国語学科教授、台湾科技大学応用外国語学科学部生

要旨

本稿は台湾教育部が公表した、台湾における（英語以外の）各外国語の履修者数（高校生および大学生）の変化を、外国語ごとに整理・分析したものである。日本語を履修する高校生・大学生の人数は依然として多数を占めているが、その比率は年々下降している。そのような傾向はとくに科技大学において顕著である。それに対して、韓国語を履修する高校生・大学生の人数は一割に達していないが、その比率は年々上昇している。また、フランス語やスペイン語などのヨーロッパ諸語や、タイ語やインドネシア語などの東南アジア諸国語を履修する高校生・大学生も増えつつある。

一方、日本語については（高校で）開講されたクラス数も大学で開講された科目数も年々減少しつつある事実から見れば、日本語教師の就職に影響を与えたことが察知できる。

キーワード：日本語、韓国語、東南アジア諸国語、カイ二乗検定